

令和7年度事業計画

1 総 論

本年、団塊の世代（昭和22年～24年生まれ）の全ての人が75歳を迎える「2025年問題」と言われる本格的な超高齢社会が到来しました。

本県においても高齢者人口は、令和6年4月現在で約25万3千人を数え、今後団塊ジュニア世代（昭和46～49年生まれ）が65歳以上となり、高齢者人口がピークに近づくとされる令和22年（2040年）には約26万9千人に増加、県人口に対する高齢化率は約40%に達することが見込まれています。

このような社会状況の下、高齢者が生きがいをもって活動し、楽しく豊かな人生を送ることができる活力ある長寿社会をつくるのが大きな課題となっており、これらの課題に対応するためには、高齢者自らがこれまで培ってきた知識や経験を最大限活かし、地域づくりや世代間交流等、様々な地域活動に主体性を持って取り組むことが求められています。

こうした社会の動きの中で、「健康づくり・地域づくり・仲間づくり・生きがいづくり」の活動に取り組んで来た本県老人クラブの果たす役割は、今後ますます大きくなっていくものと思われ、また、期待もされています。

このため、県老連では、全老連における「令和7年度・全国的な取り組みの重点」（下記掲載）を踏まえながら、平成30年度まで5年計画として取り組んできた「山梨県老人クラブ1万人会員増強運動」の取り組みを継承し、引き続き、魅力あるクラブ活動の推進を図り、老人クラブ活動の輪を広げる取り組みを展開することにより、休眠クラブの復活、新規クラブの創設など会員の確保に全力で取り組んで参ります。

<全老連における全国的な取り組みの重点（要旨）>

1 「地域共生社会」の実現に向けた取り組みの推進

昨年度は高齢社会対策において中長期にわたる基本的・総合的な指針となる「高齢社会対策大綱」を6年ぶりに見直し、これまでの高齢者を支えるための取り組みだけでなく、高齢者が増加する中で持続可能な社会を築いていくための取り組みとして位置づけ、基本的な考えとして次の項目等を掲げ、取り組むこととしている。

- ・年齢に関わりなく希望に応じて活躍し続けられる経済社会の構築
- ・一人暮らしの高齢者増加等の環境変化に対応し、多世代が共に安心して暮らせる社会の構築
- ・加齢に伴う身体機能・認知機能の変化に対応したきめ細かな施策展開・社会システムの構築

今後こうした考えに沿って高齢社会対策が展開されるが、同じく昨年施行された「孤独・孤立推進法」や「認知症基本法」の取り組みとともに、それぞれの地域において多様な主体が連携・協働し「地域共生社会」の実現に向けた取り組みが求められる。

全国の老人クラブにおいては、この大綱や両法の趣旨・理念を踏まえ、誰もが住み慣れた地域で生きがいを持って暮らし、共に支え合う「地域共生社会」の実現に向け、次の重要課題についての取り組みを推進する。

- (1) 高齢者の孤独・孤立を防ぐ仲間づくり活動の展開
- (2) 認知症の正しい知識・理解の普及と認知症の人やその家族の暮らしを支える取り組む
- (3) 関係団体と連携した生活課題・地域課題への対応

2 高齢者の健康づくり・生活支援活動の推進

- 健康を保持・増進するフレイル予防活動
- 友愛活動を基盤とした幅広い生活支援活動

2 重点事項

- (1) **組織基盤の充実強化に向けた取り組みの推進**
- (2) **健康長寿を目指す「健康づくり・介護予防活動」の推進**
- (3) **高齢者自身による地域支え合い活動の推進**

3 重点事業

(1) 組織基盤の充実強化に向けた取り組みの推進

会員増強に向け、市町村老連及び単位老人クラブの活動支援に取り組むとともに組織基盤の充実強化を図るため、新たな広報活動の展開や、新規事業の検討、非会員の活動参加の促進等に努める。

- ・ 第64回山梨県老人福祉大会の開催（甲府市総合市民会館：9月）
- ・ 市町村老連活動発表を含む「いきいきシニアまつり（仮）」の開催（10月）
- ・ 市町村老連女性リーダー研修会の実施（単独開催）
- ・ 会報（富士の国シニア山梨だより）及びリニューアルした県老連ホームページを活用し、市町村老連の活動状況を含めた広報展開
- ・ 新たな事業展開の検討、非会員の加入促進に資する活動参加への取り組み
- ・ 市町村老連リーダー研修の実施（7月）

(2) 健康長寿を目指す「健康づくり・介護予防活動」の推進

健康づくり、生きがいづくりのため各種スポーツ大会を開催するほか、個々の会員が楽しみながら活動し、結果として「健康づくり・介護予防」が実現される事業の普及を目的に、活動の中心となるリーダーの育成を行う。

① 健康づくりと生きがいづくりに資する各種大会の開催

- ・ いきいき山梨ねんりんピック2025
- ・ 第42回山梨県シニアゲートボール大会（小瀬スポーツ公園：9月）
- ・ 第18回県老連グラウンド・ゴルフ大会（小瀬スポーツ公園：11月）
- ・ 高齢者作品展（県内各ブロック：1月～3月）

② リーダー育成

- ・ 健康づくりリーダー育成に資する研修会の充実（7月・10月）

(3) 高齢者自身による地域支え合い活動の推進

高齢者の孤立防止や、高齢者のセーフティネットを目指した友愛活動を円滑に展開するための地域リーダーを育成するための事業を行う。

また、高齢消費者被害に加え、近年増加している闇バイトに関連する被害を防止するための事業を実施する。

- ・ 高齢者友愛実践活動研修会（9月：老人福祉大会と併催）
- ・ 地域の集まり等の機会を活用した高齢消費者被害防止事業の実施
- ・ 全老連「高齢者の健康づくり・生活支援セミナー」への派遣（東京都：12月）

(4) その他事業

① 全国運動、全国共通目標のための全老連等との連絡協調

【全国老人クラブ連合会（全老連関係）】

- ・ 全老連代表者会議（2月）、理事会（6月、3月）への参加
- ・ 全老連事務局長会議への参加（7月）
- ・ 第54回全国老人クラブ大会への参加（茨城県：11月）
- ・ 全老連活動推進員等職員セミナーへの参加（8月）

【関東甲信越静岡ブロック老人クラブ連絡協議会（関ブロ）関係】

- ・ 関ブロ会長・事務局長会議への参加（東京都：5月）
- ・ 関ブロ老人クラブリーダー研修会への参加（長野県：6月）
- ・ 関ブロ活動推進員等研修会への参加（7月）

【全国社会福祉協議会関係】

- ・ 第37回全国健康福祉祭（ねんりんピック）（岐阜県：11月）

② 総会、理事会、正副会長会議の開催

③ 各種委員会の開催

- ・ 女性委員会による各種交流事業の実施
- ・ 企画委員会における本会の活動活性化に資する事業検討・立案